

第4回ラグビーワールドカップ2019大阪・花園開催推進委員会 議事概要

1. 日 時 平成30年3月26日(月) 午後2時00分～午後3時00分
2. 場 所 シティプラザ大阪 4階「眺」(CHO)
(大阪府大阪市中央区本町橋2-31)
3. 出席者 委員総数 18名
【出席委員 14名(代理出席含む)】
大阪府副知事 新井 純
東大阪副市長 立花 静
公益財団法人 大阪観光局 理事長 溝畑 宏
公益財団法人 大阪体育協会 事務局長 本田 勝士
大阪府障がい者スポーツ協会 事務局長 宮村 誠一
大阪府ラグビーフットボール協会 会長 西岡 保
一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事 鈴木 博之
公益社団法人 関西経済連合会 理事 神田 彰
関西ラグビーフットボール協会 会長 坂田 好弘
近鉄グループホールディングス株式会社 部長 山本 寛
国土交通省 近畿運輸局 次長 福元 稔
国土交通省 近畿地方整備局 環境調整官 松田 好生
西日本旅客鉄道株式会社 執行役員近畿統括本部大阪支社長 川井 正
東大阪商工会議所 会頭 嶋田 亘
花園ラグビー場みらい魅力活性化委員会 会長

4. 開会及び開催都市挨拶

定刻に、ラグビーワールドカップ2019大阪・花園開催推進委員会事務局が司会を務め、委員長の大阪府松井知事に代わり、新井副知事が出席し、委員長を務めた。

5. 決議事項

会議に先立ち、代理出席を含め14名の委員に出席いただき、規約第9条第3項の定足数を満たしていることから、会議が有効に成立したことを確認する。

○議案1及び2を一括で審議した。

事務局 西村課長より、広報プロモーション事業や大会開催に向けた条件整備・調査活動の実施や、交通輸送検討部会、観光おもてなし検討部会及びレガシー検討部会を設置し、意

見交換や情報共有を行っている事等、平成 29 年度事業報告を行うと共に、150 万円を次年度に繰り越すこと等について、決算見込みについて説明を行った。

議案 1 及び 2 について、表決をとったところ全員異議なく承認された。

○議案 3 及び 4 を一括で審議した。

事務局 西村課長より、来年度の 4 月にボランティア募集開始、9 月の花園ラグビー場の改修工事竣工、その時期に大会本番を想定した試合を行い、ファンゾーンの設置や警備・交通輸送の検証を行う事や、仮設工事について予算計上している旨等、平成 30 年度事業計画及び予算額について説明を行った。

○ご意見、ご質問

(委員)

- ・アイルランド、オーストラリア、イングランド、アメリカ、イタリアからの観戦者は、大会中は長期で滞在する方が多い。多くの人々に来てもらうため、国ごとに対策を練ることが必要だ。また、神戸市との連携についても進めるべきだ。

(事務局)

- ・観光おもてなし検討部会では、特に花園ラグビー場で試合を行う国に対して検討を行っている。その他の国々については、今後検討部会で検討していきたい。

1 月に組織委員会を通じて各国領事館の観光窓口との会合があった。その際、当局職員が積極的に参加し、大阪観光パンフレット等を配布し、PR した。

(委員)

- ・訪日客にはナイトエンターテインメントが人気。東大阪市内のナイトエンターテインメントをリストアップし、外部へ発信するべきではないか。

(副委員長)

- ・DMO が中心となって、何かできないかを検討中。
- ・市としても、市内を盛り上げていけるようにしていきたい。

(委員)

- ・大会に向けて経済界の皆様からご支援いただき、協力体制を築いていきたい。

(委員)

- ・同友会も委員会を立ち上げて、ゴールデンイヤーズに向けて取り組んでいる。関西経済連合会や商工会議所とも一緒に何かできないかを検討していきたい。

(委員)

- ・ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズの機運をとらえるためにスポーツの振興委員会を設置しており、夏ごろまでにはビジョンを作成していく予定。
また、関西経済同友会と共に様々なイベントでラグビーワールドカップのPRを行っている。

(委員)

- ・来年度から仮設工事が始まるが、仮設で設置したものについて、ラグビーワールドカップ終了後は、撤去するのか。もしそうなのであれば、第2グラウンドに移設してはどうか。
大会のレガシーにもなるのではないかな。

(事務局)

- ・仮設物について、基本はレンタルであり、ビジョンは、返却する必要がある。また、主な仮設物は、現在の立見席に仮設の個別席を設置するものあることから、他での利用は難しいケースもある。レガシー部会等で何か残していけないか検討していく。
レガシーについては、ハード面だけではなく、ソフト面も重要であると考えている。大阪では、「なみはや国体」の際に活躍されたボランティアが、今でも活動されている。
人のつながりが今後も続くような取組みをレガシーとして残して行きたいと考えている。

(委員長)

- ・来年度は、推進委員会で、(改修後の)花園ラグビー場を見に行きたい。

(委員)

- ・PR場所について、新大阪駅を利用するもよいのではないかな。花園と神戸のPRにもなる。

(事務局)

- ・様々な場所でPRしていきたいと考えている。協力をお願いしたい。

(委員)

- ・チケットの販売状況等により、歳入が変動するものなのかな。

(事務局)

- ・チケットの売行きによって歳入が変動するものではない。
歳入が変動するものとしては、東大阪市がふるさと納税制度を活用し、寄付を募っている。
また、特別仕様ナンバープレートにより寄付を募っている。
企業からの寄付については、公式スポンサーの商標の関係があり、難しい状態となっている。

(委員)

- ・当局でビジットジャパン事業というものをやっている。来年度は英・仏・豪でイベント開催予定。欧州の国では旅行の行程を決めるのが一年前くらいだと聞いているので、積極的にPRしていきたい。

(委員)

- ・一般の旅行会社のプランではあまり効果がないと考える。
例えば、イングランドで非常に盛り上がる試合の会場等で PR するなど工夫が必要だと考える。また、ラグビー業界に詳しい方に調整していただくことも重要であると考えている。

議案 3 及び 4 について、表決をとったところ全員異議なく承認された。

また、本日、代理出席を含め 14 名の委員に出席いただき、規約第 9 条第 3 項の定足数を満たしていることから、会議が有効に成立した。

以上をもって全議案の審議、報告を終了した。